



No.298 2020.2.10

第15回埼玉県議会フォトコンテストの表彰式を開催

令和2年2月3日(月曜日)、県議会フォトコンテストの表彰式が県議会議事堂内で行われました。

表彰式では、神尾高善議長と新井豪副議長から受賞者一人ひとりに賞状楯と記念品が手渡されました。



[☆詳しい表彰式の様子は、県議会のホームページからご覧いただけます。≫](#)

INDEX



県議会広報

第15回埼玉県議会フォトコンテスト表彰式



県民の声

第14回埼玉県議会フォトコンテスト受賞者の声



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【表彰式の様子】

表彰式では、賞状楯の贈呈のほか、一般写真部門で議長賞を受賞された早野由香様からのあいさつや審査員からの講評がありました。



渡辺英夫審査員による講評



記念撮影
(一般写真部門テーマA受賞者と)



記念撮影
(一般写真部門テーマB受賞者と)



記念撮影
(モバイル写真部門受賞者と)

【作品の展示】

入賞作品は県庁舎、県議会議事堂で展示します。展示場所は次の通りです。

- ・県庁渡り廊下(本庁舎と第二庁舎の間)
2月4日(火曜日)～21日(金曜日)
8時30分～17時00分(土日・祝日を除く)※最終日は16時00分まで
- ・県議会議事堂1階展示ホール
2月25日(火曜日)～
8時30分から17時00分(土日・祝日を除く)

☆すべての入賞作品など詳しくは、県議会のホームページからご覧いただけます。》

[▲トップへ](#)

県民の声

【第14回埼玉県議会フォトコンテスト受賞者の声】

このコーナーでは、昨年度行われたフォトコンテストで受賞された方々からお寄せいただいたコメントをご紹介します。

今回は、第14回埼玉県議会フォトコンテストの一般写真部門において、入選した2作品と受賞者のコメント、審査員による選評をご紹介します。

一般写真部門 入選

小久保武文様（日高市）

★テーマ★ 埼玉の四季

★作品名★ 「大雪の日」

★撮影場所★ 坂戸市

**受賞者の声**

埼玉県議会フォトコンテストに毎回のように応募。今回ようやく入選することができました。この撮影場所は坂戸市の天神橋です。高麗川に架かる橋を入れて冬景色や春の桜を撮りに行く、好きな場所です。撮影日は、平成30年1月22日の雪降る日で、中学生の2人が、雪合戦して遊んでいる様子を撮りました。

★審査員の選評★

雪の日の風景を構図良くまとめました。人物の動きが良いアクセントとなっています。

寒い雪の中、カメラを持って出て行く熱心さが素晴らしい作品となったのです。

(審査員:全日本写真連盟埼玉県本部 顧問 松本正氏)

一般写真部門 入選

小山正人様（上尾市）

★テーマ★ 埼玉の四季

★作品名★ 「コミミズク 何想う！」

★撮影場所★ 川島町紫竹

**受賞者の声**

私の好きな冬鳥はコミミズクです。愛嬌(あいきょう)ある顔で、ゆったりと飛び、狩りをしてくれます。去年は県中央部の水田地帯にやって来て、多くの方が楽しみました。止まったコミミズクを撮影でき、特徴あるきれいな目を写せてとても満足です。コミミズクの目線ではるか北国の故郷を思う気持ちを感じました。

★審査員の選評★

静けさが漂う中で柔らかな光が全体を包み、やや暗めの背景がコミミズク存在を盛り上げています。

大胆な構図が光る作品。

(審査員:全日本写真連盟埼玉県本部 顧問 松本正氏)

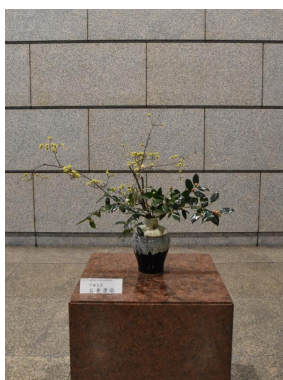
☆県議会フォトコンテストの入賞作品は、県議会フォトギャラリーでもご覧いただけます。≫

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間
1月20日
～1月24日
◆作者
千勝古流
石井康徹様
◆花材
サンシュユ、
ツバキ



◆展示期間
1月27日
～1月31日
◆作者
勅使河原和風
会
富山雪庭様
◆花材
ケイオウザク
ラ、カラー、ス
カシユリ、ラナ
ンキュラス、ハ
ラン、ユキヤ
ナギ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈千勝古流 石井康敏様〉

Q: 赤と白の2種類のツバキが生けられていますね。

A: ツバキの中でも今回用いた白いものは侘助(わびすけ)という種類です。その名の通りわびさびを感じさせる小ぶりの花をつけます。茶道などで床の間に生けられる和花で、白い花びらが半分くらい開いた頃が趣があります。サンシュユと共に純日本的な雰囲気を出しています。

Q: 和を感じるサンシュユの枝が古流の生花を形作っていますね。

A: このサンシュユの枝ぶりの面白さに引かれて作品に用いました。手を加えずともこのような枝分かれや曲がり方だったので自然の形を生かしています。個性豊かな形の花材の方が味のある生け花となると思います。

**〈勅使河原和風会 富山雪庭様〉**

Q: まだまだ寒さが厳しい1月ですが、桜を見ると春が待ち遠しくなってきます。

A: ケイオウザクラ(啓翁桜)は早咲きの桜ですが、この展示に合わせて花が開くように暖かい部屋に置いていました。少しずつ咲いてきているのでこれから満開を皆さんに見ていただけたらと思います。

このような季節の先取りも生け花の魅力の一つです。つぼみで生けられた作品を見て咲いている姿を想像する、という楽しみ方もできるので作品に無限の広がりが生まれます。

Q: 中央のランタンキュラスの特徴的な配色が目を引きますね。

A:ケイオウザクラやカラーといった淡い色の花の中で、全体の彩りにメリハリをつけるアクセントとなります。作品全体の色の調和という点では、淡い水色で桜と合う趣のあるデザインの花器もポイントです。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

★編集後記★

【一足早く】

こんにちは。少しずつ暖かい日が増えてきました。
今回の議事堂の花のコーナーで紹介した作品に用いられていたケイオウザクラですが、生け込みから4日後の金曜日には満開になっていました。皆さんにも春を感じていただきたいので、写真を撮りました！
皆さん、春へ向けてくれぐれも体調に気を付けてお過ごしください。



【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

